

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002309
事業所名	医療法人善恵会ふくろう きらら

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 施設の法人が町内会に加入している。立地を生かし、公園での散歩時、美術、博物館への見学等周辺施設を生かした交流取り組みがある。地域の保育園との交流の中園児の訪問等、親交を深めている。施設の祭りへの地域住民等の参加、地域の「とよはし鬼祭り」で鬼の訪問等、機会をとらえて交流がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 多くの委員を委嘱し、家族の出席も多く、推進会議時に合わせ行事を行う等呼びかけ、工夫がある。（地元議員の参加もあり、そのネットワークの活用や、情報発信の機会ともなっている）活動報告、行事報告、ヒヤリハット、意見交換、要望のある講話等、会議内容に配慮し、活発に行っている。	評価 ○
重点項目③	施設役員が元市の介護福祉関連の幹部だったこともあり、また市役所の目前が施設の立地でもあることなどから、日常的に交流、情報交換等行われている。市の研修、社会福祉協議会の研修等参加がある。同一敷地に法人の病院、包括支援センターがあり、行政と常時の連携がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月発行の「ふくろう新聞」での情報共有がある。2か月ごとの運営推進会議へ大勢の家族参加があり、意見要望の取り入れる機会となっている。施設行事への参加を促し、面談の機会ともする等工夫がある。日常的に交流があることから、相談をしやすい雰囲気作りに取り組んでいる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○			